

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2021年7月12日から2026年8月10日まで
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	先進国（IMF（国際通貨基金）が定義する先進国・地域に準拠します。）の企業が発行する米ドル建て債券を主な投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回の毎決算時（毎年8月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。なお、信託財産の成長を優先させ、収益分配を行わない場合があります。

シュローダー先進国債券ファンド2021-07 (限定追加型)

第4期 運用報告書(全体版)

(決算日 2025年8月12日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー先進国債券ファンド2021-07(限定追加型)」は、2025年8月12日に第4期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館21階
<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)

Schroders
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税分	込 み 金	期 騰 落	中 率	債組入比率	債先物比率	純総資産額
(設定日) 2021年7月12日	円 10,000		円 一		% 一	% 一	% 一	百万円 6,527
1期(2022年8月10日)	10,047		0		0.5	112.0	—	9,863
2期(2023年8月10日)	10,332		0		2.8	120.3	—	9,402
3期(2024年8月13日)	10,299		0		△0.3	134.8	—	8,377
4期(2025年8月12日)	10,334		0		0.3	139.3	—	7,781

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額、税込み分配金は1万口当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	債組入比率		債先物比率	券率
		騰 落 率	%		
(期首) 2024年8月13日	円 10,299		% —	% 134.8	% —
8月末	10,291		△0.1	131.5	—
9月末	10,269		△0.3	132.2	—
10月末	10,334		0.3	140.9	—
11月末	10,310		0.1	140.0	—
12月末	10,338		0.4	145.7	—
2025年1月末	10,325		0.3	144.4	—
2月末	10,292		△0.1	141.3	—
3月末	10,275		△0.2	142.0	—
4月末	10,273		△0.3	136.6	—
5月末	10,320		0.2	137.3	—
6月末	10,317		0.2	134.6	—
7月末	10,335		0.3	144.5	—
(期末) 2025年8月12日	10,334		0.3	139.3	—

(注) 基準価額は1万口当たり。

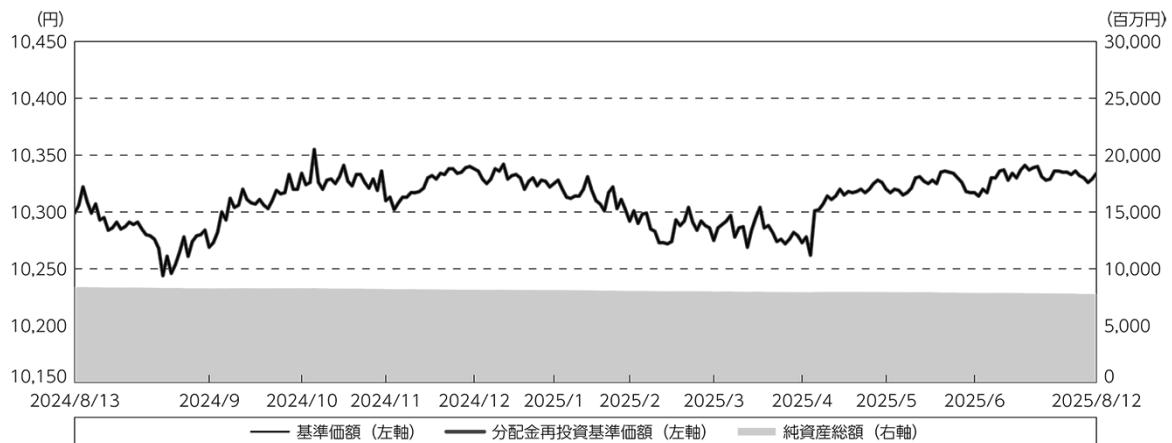
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2024年8月14日～2025年8月12日)

期中の基準価額等の推移



期 首：10,299円

期 末：10,334円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 0.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2024年8月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首10,299円でスタートした基準価額は、10,334円（分配後）で期末を迎える、期首比0.3%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期、当ファンドはプラスのリターンとなりました。当期、概ね期を通して経済減速懸念や地政学的リスクの高まりなどから先進国債券市場は上昇（債券利回りは低下）しました。当ファンドにおいては、金融セクターおよび不動産セクターの債券の保有、またBBB、BB格の債券の保有がプラス寄与となりました。

投資環境

当期、グローバル債券市場の利回りは上昇（債券価格は下落）しました。期初、労働市場のひっ迫緩和が示唆されたことや、インフレ関連指標が伸び鈍化を引き続き示したことから、国債利回りは低下基調となりました。2024年10月に入り、米国大統領選挙を控え、トランプ前大統領が勝利するとの見方が強まり、財政赤字拡大の懸念から、米国国債利回りは上昇しました。11月には利下げや、ロシアとウクライナを巡る地政学的リスクの高まり等を受けて一時的に低下が見られたものの、12月には、翌年の利下げ回数の見通しが従来予想から減少したこと等が影響し、米国国債利回りは再び上昇しました。2025年も上昇基調が継続しましたが、1月中旬に発表された消費者物価指数（CPI）のコア指数がインフレの鈍化を示し、後退していた年内利下げ観測が再び強まることで米国国債利回りは低下に転じました。3月に入ると、関税を巡る動きが市場を動かす主要因となり、経済減速懸念を背景に低下しましたが、4月にはトランプ大統領が米連邦準備制度理事会（FRB）のパウエル議長に利下げを要求したことでFRBの独立性に対する懸念が生じ、利回りは上昇に転じました。その後はトランプ大統領の貿易政策の動きに左右されながらレンジ内での推移となりましたが、期を通しては上昇となりました。当期の国債市場では、米国10年債の利回りは3.84%から4.29%、ドイツ10年債の利回りは2.19%から2.74%、英国10年債の利回りは3.89%から4.63%に上昇しました。このような中、クレジット市場については、米国投資適格社債市場、米国ハイイールド社債市場いずれのリターンも米国国債市場のリターンを上回る結果となりました。

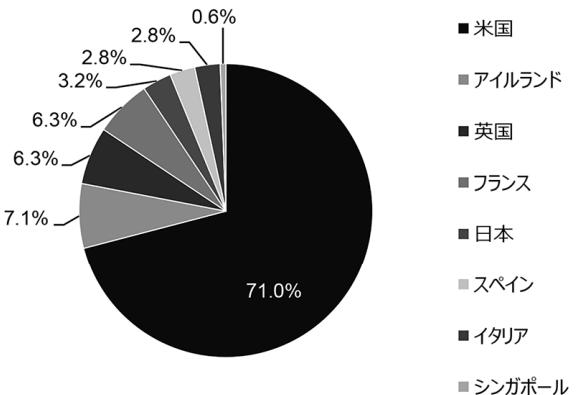
当ファンドのポートフォリオ

当期、ポートフォリオでは、市場動向を注視しつつ、リスクを抑えた運用を行い、格付別では BBB格、AA格の投資適格債を中心には保有し、ポートフォリオの平均格付についてはA格としています。国別では、米国の組入れを最も高位とし、次にアイルランド、英国の組入れを高位としています。セクター別には、銀行、金融会社、景気循環消費財（国債を除く）などを中心とした組入れとしています。

（格付はS&P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。）

作成基準日：2025年7月31日

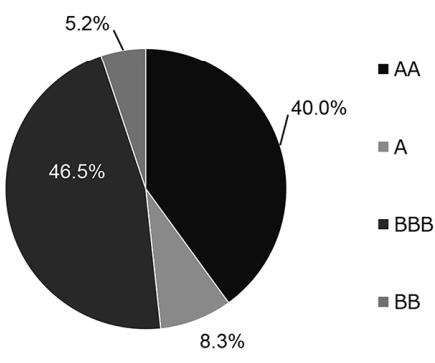
■国・地域別組入比率



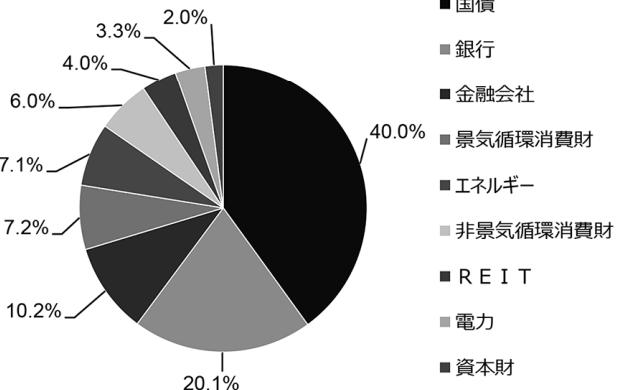
■資産構成比率

内訳	比率
社債	86.7%
国債	57.8%
キャッシュ等	44.5%
合計	100.0%

■格付別組入比率*



■業種別組入比率



出所：シユローダー・グループ、BRS Aladdin、およびBloomberg Finance L.P.のデータを基にシユローダー・インベストメント・マネジメント作成。

※ 国・地域は発行体のブルームバーグによるカントリーリスク対象国に基づいて記載。業種は組入資産のブルームバーグ業種(BICS レベル3)に基づいて記載。

※ 資産構成の組入比率は、純資産総額比です。

※ 格付別、国・地域別、業種別組入比率は、組入証券部分を100%とした場合の比率です。

※ 組入比率グラフについては、四捨五入により合計が100%にならない場合があります。

* スタンダード&パーズ、フィッチ・レーティングス、ムーディーズで格付けが取得できない銘柄については、弊社の内部格付けを使用しております。平均格付は、それらの情報に基づき最高格付けを加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第4期
	2024年8月14日～ 2025年8月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,879

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

足元、堅固なファンダメンタルズと良好な利回りを提供していることから、投資適格社債のクレジットスプレッドは縮小基調となっています。好材料は織り込まれている一方で、政策の不確実性や地政学的リスクといった主要なテールリスクが過小評価されていると考えることから、引き続き慎重な姿勢を維持することが妥当と考えます。グローバル債券市場の利回りは相対的に高い水準を維持しており、これは投資家にとって魅力的なインカム収入をもたらすと考えます。2025年4-6ヶ月の利益と売上高は市場予想を上回り、企業体質は依然として堅調で、安定的な収益と管理可能なレバレッジを背景に、強固なバランスシートを有する発行体が多く見られます。このような環境下では、強固なバランスシートおよび安定的なインカムを提供する金融シニア債に投資機会があるとみています。また、自動車、資本財、エネルギーセクターにおいては、レバレッジを削減している企業が見られる中、選択的な投資機会が存在すると考えます。一方、景気に左右されにくいディフェンシブセクターは買われすぎており、やや割高な水準にみえます。このような環境下において、グローバルの経済動向を見極めつつ、保有銘柄の信用リスク状況を注視したポートフォリオ運営を継続する方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年8月14日～2025年8月12日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 88	% 0.856	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(45)	(0.439)	・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
(販売会社)	(40)	(0.384)	
(受託会社)	(3)	(0.033)	・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) その他の費用	6	0.060	(b)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.007)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.013)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(4)	(0.040)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
(その他の)	(0)	(0.000)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI : Legal Entity Identifier）登録費用等
合計	94	0.916	
期中の平均基準価額は、10,306円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

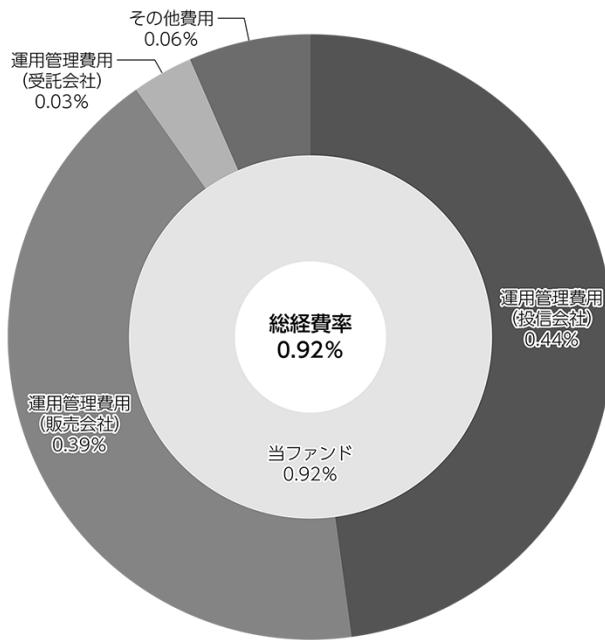
(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.92%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年8月14日～2025年8月12日)

公社債

			買付額	売付額
外 国	アメリカ	国債証券	千米ドル 10,019	千米ドル 4,835
		社債券(投資法人債券を含む)	11,751	— (21,542)

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分です。

(注) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年8月14日～2025年8月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年8月12日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 73,608	千米ドル 73,016	千円 10,839,994	% 139.3	% 6.6	% —	% —	% 139.3
合計	73,608	73,016	10,839,994	139.3	6.6	—	—	139.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利率	額面金額	当期末		
			外貨建金額	邦貨換算金額	償還年月日
アメリカ	%	千米ドル	千米ドル	千円	
国債証券	US 0% 30/10/25	—	700	693	2025/10/30
	US 0.75% 30/04/26	0.75	2,410	2,354	2026/4/30
	US 1.625% 15/05/26	1.625	2,764	2,715	2026/5/15
	US 1.875% 30/06/26	1.875	5,005	4,913	2026/6/30
	US 1.875% 31/07/26	1.875	8,071	7,911	2026/7/31
	US 2.125% 31/05/26	2.125	4,225	4,161	2026/5/31
	US 3.75% 15/04/26	3.75	45	44	2026/4/15
	US 4.25% 31/12/25	4.25	518	517	2025/12/31
	US 4.5% 15/07/26	4.5	2,485	2,496	2026/7/15
	US 4.875% 31/05/26	4.875	4,535	4,564	2026/5/31
普通社債券 (含む投資法人債券)	AERCAP IRELAND 1.75%	1.75	2,690	2,653	2026/1/30
	AVOLON HOLDINGS 4.375%	4.375	2,710	2,702	2026/5/1
	BANK OF AMERICA 4.45%	4.45	761	761	2026/3/3
	BARCLAYS PLC 5.2%	5.2	2,678	2,689	2026/5/12
	BBVA GLOBAL FINANCE 7%	7.0	2,100	2,106	2025/12/1
	BNP PARIBAS 4.375%	4.375	2,500	2,493	2026/5/12
	BOEING CO 2.25%	2.25	1,577	1,548	2026/6/15
	BPCE SA 4.875%	4.875	2,250	2,252	2026/4/1
	CVS HEALTH 2.875%	2.875	2,345	2,314	2026/6/1
	ENERGY TRANSFER 3.9%	3.9	1,156	1,150	2026/7/15
	FORD MOTOR CRE 6.95%	6.95	980	992	2026/6/10
	GENERAL MOTORS 1.5%	1.5	1,917	1,870	2026/6/10
	HCA INC 5.875%	5.875	2,221	2,223	2026/2/15
	HYUNDAI CAPITAL 1.5%	1.5	168	164	2026/6/15
	INTESA SANPAOLO 5.71%	5.71	2,088	2,092	2026/1/15
	LLOYDS BANK PLC 4.65%	4.65	1,541	1,540	2026/3/24
	MPLX 1.75%	1.75	1,106	1,088	2026/3/1
	NISSAN MOTOR CO 3.522%	3.522	2,440	2,436	2025/9/17
	NUSTAR LOGISTICS 6%	6.0	1,000	1,005	2026/6/1
	OMEGA HEALTHCARE 5.25%	5.25	1,420	1,419	2026/1/15
	PLAINS ALL AMER 4.65%	4.65	1,573	1,572	2025/10/15
	Pacific Gas 3.15%	3.15	2,550	2,530	2026/1/1
	SABINE PASS LIQ 5.875%	5.875	87	87	2026/6/30
	STANDARD CHARTER 4.05%	4.05	570	568	2026/4/12
	VORNADO REALTY 2.15%	2.15	1,650	1,606	2026/6/1
	WELLS FARGO AND CO 4.1%	4.1	772	770	2026/6/3
合計				10,839,994	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年8月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 10,839,994	% 88.4
コール・ローン等、その他	1,420,908	11.6
投資信託財産総額	12,260,902	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産（11,383,846千円）の投資信託財産総額（12,260,902千円）に対する比率は92.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=148.46円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年8月12日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	32,803,855,849
公社債(評価額)	500,782,285
未収入金	10,839,994,382
未収利息	17,784,542,683
前払費用	77,162,601
差入委託証拠金	3,520,028
(B) 負債	25,022,308,107
未払金	21,381,571,825
未払解約金	7,232,818
未払信託報酬	33,645,097
差入委託証拠金代用有価証券	3,597,853,870
その他未払費用	2,004,497
(C) 純資産総額(A-B)	7,781,547,742
元本	7,529,718,608
次期繰越損益金	251,829,134
(D) 受益権総口数	7,529,718,608口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,334円

[元本増減]

期首元本額	8,134,663,195円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	604,944,587円
(注) 2025年8月12日現在、先物取引などに係る差入委託証拠金代用有価証券として担保に供している資産は以下の通りです。	
・国債証券	3,547,489,192円

(注) 当ファンドの投資信託財産の運用を行う運用委託先に対する報酬・費用は、運用権限委託契約に定められた報酬額を当ファンドの委託者報酬から支払っております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

<分配金について>

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本(受益者のファンドの購入価額)と同額または上回る場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)、残りの額は普通分配金となります。
- ・分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

○損益の状況 (2024年8月14日～2025年8月12日)

項目	当期末
(A) 配当等収益	円
受取利息	417,829,047
その他収益金	417,184,834
(B) 有価証券売買損益	△ 644,213
売買益	△ 318,369,477
売買損	492,929,053
(C) 信託報酬等	△ 811,298,530
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 74,128,956
(E) 前期繰越損益金	25,330,614
(F) 追加信託差損益金	240,318,217
(配当等相当額)	△ 13,819,697
(売買損益相当額)	(1,363,226)
(G) 計(D+E+F)	(△ 15,182,923)
(H) 収益分配金	251,829,134
次期繰越損益金(G+H)	0
追加信託差損益金	251,829,134
(配当等相当額)	△ 13,819,697
(売買損益相当額)	(1,363,226)
分配準備積立金	(△ 15,182,923)
繰越損益金	1,414,134,686
	△ 1,148,485,855

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (343,700,091円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,363,226円) および分配準備積立金(1,070,434,595円) より分配対象収益は1,415,497,912円(10,000口当たり1,879円) ですが、当期に分配した金額はありません。